



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月27日

上場会社名 アートスパークホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL <http://www.artspark.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	1,923	11.7	302	19.1	289	19.0	249	13.0
29年12月期第2四半期	1,722	△23.7	253	△44.5	243	△43.5	220	△40.1

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 250百万円(11.1%) 29年12月期第2四半期 225百万円(△39.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	36.75	36.10
29年12月期第2四半期	32.59	31.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	4,208	3,392	80.3
29年12月期	4,024	3,167	78.3

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 3,378百万円 29年12月期 3,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	4.00	4.00
30年12月期	—	0.00			
30年12月期(予想)			—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,621	△0.4	367	△13.4	343	△16.4	251	△33.0
								36.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年12月期 2 Q	6,798,520株	29年12月期	6,795,020株
30年12月期 2 Q	3,280株	29年12月期	3,220株
30年12月期 2 Q	6,792,341株	29年12月期 2 Q	6,778,280株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境、及び所得環境等の改善が進んだことにより、緩やかな回復基調が続いております。一方、米国の保護主義政策による貿易摩擦の激化が世界経済のリスクとして懸念される等、依然として景気の先行きは不透明な状況であります。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作から利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当第2四半期連結累計期間におきましても、引き続きソフトウェアIPを核とした経営に重点を置き、開発リソースの戦略的配置等、経営効率向上に注力しております。

その結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は1,923,007千円（前年同期比11.7%増）、営業利益は302,431千円（前年同期比19.1%増）となりました。

また、経常利益につきましては、支払利息945千円、為替差損9,695千円を計上したこと等により、289,943千円の経常利益（前年同期比19.0%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、税金費用48,118千円を控除したこと等により、249,644千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比13.0%増）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<クリエイターサポート事業>

当第2四半期連結累計期間では、iPad用マンガ・イラスト・アニメ制作アプリ「CLIP STUDIO PAINT for iPad」の新グレード「PRO」と「年額プラン」を全世界同時に提供開始いたしました。

また、ペンタブレットでの作業がより快適になる入力デバイス、新型「CLIP STUDIO TABMATE」を全国の販売店、及びオンラインショップにて販売を開始いたしました。

さらに、先行して日本語版のみで提供していた株式会社アイビスモバイルの人気描画アプリ「ibisPaint」と「CLIP STUDIO PAINT」の連携機能を全言語で利用可能にし、利便性を向上しました。

なお、インターネットを通じて、イラスト、マンガ、アニメ、小説を制作するクリエイターの創作活動をトータルに支援するwebサイト「CLIP STUDIO」においては、平成30年6月末時点の登録者数は124万人となっております。

以上の結果、売上高は1,426,153千円（前年同期比15.9%増）、営業利益は295,455千円（前年同期比23.4%増）となりました。

<UI/UX事業>

UI/UX事業では、自動車（四輪・二輪）関連分野を筆頭に、HMIの基盤であるUIオーサリングソフトウェア群「exbeans UI Conductor」（エックスビーンズユーアイコンダクター）を始めとする自社IP製品の開発に注力しております。

「exbeans UI Conductor」においては、利便性の向上による市場価値を高めるため、各種ハードウェア・ソフトウェアベンダーとの協業、及び共同ソリューションの開発を進めております。当第2四半期連結累計期間においては、アイテック阪急阪神株式会社と共同で開発し発表いたしましたHMI開発ソリューションのデモ機を自動車技術者・研究者のための自動車技術の専門展「人とくるまのテクノロジー展」において展示いたしました。

なお、平成27年8月より大手OEMの車載機器向けサービスソフトウェアに採用されている当社製品は、北米市場を中心とした出荷台数が累計で240万台を超えております。

以上の結果、売上高は518,538千円（前年同期比3.2%減）、営業利益は1,560千円（前年同期は8,091千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて184,590千円増加し4,208,706千円となりました。この主な要因は、ソフトウェアが61,594千円減少した一方で、現金及び預金が85,282千円、売掛金が23,206千円、仕掛品が30,601千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて40,112千円減少し816,532千円となりました。この主な要因は、賞与引当金が82,437千円増加した一方で短期借入金が140,000千円、1年内返済予定の長期借入金が27,184千円、長期借入金が18,080千円減少したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて224,702千円増加し3,392,173千円となりました。この主な要因は、利益剰余金が222,476千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、80.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、平成30年2月9日に発表した業績予想を修正いたしました。

詳細に関しましては、本日（平成30年7月27日）公表の「平成30年12月期第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,491,012	2,576,294
売掛金	320,305	343,511
製品	4,884	4,327
仕掛品	5,694	36,296
原材料及び貯蔵品	15,449	32,269
繰延税金資産	28,903	38,346
その他	133,019	215,231
貸倒引当金	△2,864	△3,020
流動資産合計	2,996,405	3,243,257
固定資産		
有形固定資産		
建物	75,799	76,571
減価償却累計額	△46,604	△48,916
建物（純額）	29,194	27,654
工具、器具及び備品	225,697	238,973
減価償却累計額	△184,684	△194,718
工具、器具及び備品（純額）	41,012	44,255
車両運搬具	3,924	3,924
減価償却累計額	△1,306	△1,742
車両運搬具（純額）	2,617	2,181
リース資産	3,942	3,520
有形固定資産合計	76,767	77,611
無形固定資産		
ソフトウェア	692,368	630,773
ソフトウェア仮勘定	19,125	19,738
その他	30,489	31,475
無形固定資産合計	741,982	681,987
投資その他の資産		
投資有価証券	81,681	80,479
敷金及び保証金	113,777	114,732
その他	13,500	10,638
投資その他の資産合計	208,959	205,849
固定資産合計	1,027,710	965,448
資産合計	4,024,115	4,208,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	80,707	74,939
短期借入金	190,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	84,964	57,780
未払法人税等	48,983	64,682
返品調整引当金	540	479
賞与引当金	44,052	126,489
その他	227,154	251,994
流動負債合計	676,402	626,365
固定負債		
長期借入金	18,080	—
役員退職慰労引当金	32,880	50,740
退職給付に係る負債	123,068	132,346
リース債務	4,257	3,801
繰延税金負債	1,955	3,278
固定負債合計	180,242	190,167
負債合計	856,644	816,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,063,930	1,065,055
資本剰余金	543,057	544,182
利益剰余金	1,545,457	1,767,934
自己株式	△3,085	△3,174
株主資本合計	3,149,359	3,373,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,375	4,287
その他の包括利益累計額合計	3,375	4,287
新株予約権	14,736	13,888
純資産合計	3,167,471	3,392,173
負債純資産合計	4,024,115	4,208,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	1,722,293	1,923,007
売上原価	902,357	983,149
売上総利益	819,936	939,858
返品調整引当金戻入額	1,281	540
返品調整引当金繰入額	832	479
差引売上総利益	820,384	939,918
販売費及び一般管理費	566,553	637,487
営業利益	253,830	302,431
営業外収益		
受取利息	37	37
受取配当金	432	572
その他	22	6
営業外収益合計	492	616
営業外費用		
支払利息	2,132	945
為替差損	5,174	9,695
その他	3,312	2,464
営業外費用合計	10,619	13,104
経常利益	243,703	289,943
特別利益		
投資有価証券売却益	-	7,459
新株予約権戻入益	-	360
特別利益合計	-	7,819
税金等調整前四半期純利益	243,703	297,762
法人税等	22,745	48,118
四半期純利益	220,958	249,644
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,958	249,644

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益	220,958	249,644
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,663	911
その他の包括利益合計	4,663	911
四半期包括利益	225,621	250,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,621	250,555
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,186,618	535,675	1,722,293	—	1,722,293
セグメント間の内部売上高又は振替高	44,361	195	44,557	△44,557	—
計	1,230,979	535,871	1,766,851	△44,557	1,722,293
セグメント利益又は損失(△)	239,368	△8,091	231,276	22,553	253,830

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポート事業	UI/UX事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,404,469	518,538	1,923,007	—	1,923,007
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,684	—	21,684	△21,684	—
計	1,426,153	518,538	1,944,691	△21,684	1,923,007
セグメント利益又は損失(△)	295,455	1,560	297,015	5,415	302,431

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。